

香山公園

香山公園は 14 世紀以降の山口の歴史の縮図となっており、過去の統治者や有力者の像、記念碑、歴史的建造物があります。敷地内は梅、桜、カエデの木や、ツツジ、アジサイなどが植えられおり、一年を通して美しい景色が楽しめます。公園への入場料は無料です。

雪舟等楊像

公園の入り口近くに、日本の最も卓越した水墨風景画家の 1 人である禅僧、雪舟（1420 年–1506 年）の記念碑があります。雪舟は長年にわたり断続的に山口で過ごし、町に工房を構え、そこで雪舟の最も有名な作品のいくつかを描きました。また、近くの石組みで有名な常栄寺の庭を設計したと考えられています。

瑠璃光寺五重塔

公園内を反時計回りに歩いていくと、公園で最も名高い名所である瑠璃光寺五重塔にたどり着きます。この五重塔は、14 世紀中頃から 16 世紀中頃まで現在の山口県を統治していた大内家当主、大内盛見（1377 年–1431 年）により建立されました。五重塔は 1442 年頃に完成し、一度も崩壊したり再建されていません。その歴史的・文化的重要性から国宝に指定されています。

瑠璃光寺と馬に跨った大内弘世

五重塔の後ろに瑠璃光寺の本堂があります。瑠璃光寺は 1471 年に建立され、薬と癒しの仏陀である薬師如来を祀っています。近くには馬に跨った大内弘世（1326 年–1380 年）の像があります。大内弘世は、山口盆地を開発し、現在の山口市となる町の基礎を築いた人物とされています。

枕流亭と露山堂

このルートは江戸時代（1603 年–1867 年）からある 2 つの歴史建造物、商家の別館である枕流亭と、長州藩（現在の山口県）の第 13 代大名が建てた茶室、露山堂へと続きます。これらの建物は、1868 年の明治維新の実現に貢献した反幕府活動家によって利用されていました。この歴史的出来事は、幕府の政治的権力の終焉や天皇への主権の回復を示しました。枕流亭の中に入り、大政奉還を求めた木戸孝允（1833 年–1877 年）など長州藩の重要人物たちが密会した 2 階に上がることができます。建物の中には、木戸らの肖像画が展示されています。

毛利家墓所

17 世紀から 19 世紀にかけて、大内家に代わって、毛利家が山口を統治するようになりました。露山堂の裏にある毛利家墓所には、長州藩第 13 代大名である毛利敬親（1819 年–1871 年）、長州藩最後の大名である、息子の元徳（1839 年–1896 年）、孫の元昭（1865 年–1938 年）が埋葬されています。毛利敬親は明治維新の立役者で、長州藩と薩摩藩（現在の鹿児島

県)、土佐藩（現在の高知県）の間で盟約を結ばせて幕府軍と戦いました。